

CONTENTS

ARIC情報

01 ● 巻頭言

農業農村整備情報の蓄積と今後の展開

ー ARIC（農業農村整備情報総合センター）設立 40 周年に際してー02

一般社団法人農業農村整備情報総合センター 理事長

京都大学名誉教授・特任教授

渡邊 紹裕

02 ● トピックス

令和7年 土地改良法の改正について04

農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課 課長補佐

柏木 歩

03 ● 研究レポート

「ため池洪水調節機能強化マニュアル」の作成10

元（国研）農研機構 農村工学研究部門

吉迫 宏

（国研）農研機構 農村工学研究部門

小嶋 創

（国研）農研機構 農村工学研究部門

正田 大輔

04 ● 「みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業」の紹介

小形水門遠隔監視・操作システムのご紹介

ー農業水利施設のDX(デジタルトランスフォーメーション)化を支援するシステムの開発ー18

THK 株式会社 衛藤健太郎

THK 株式会社 高橋 裕一

THK 株式会社 廣田 淳

THK 株式会社 秋山 和彦

THK 株式会社 井口 潤一

THK 株式会社 佐藤 宏紀

05 ● 民間開発の技術の紹介

可とう性・止水性を備えたプレキャスト底樋管「MC 底樋システム」

ーため池の防災・減災に貢献する技術ー22

丸栄コンクリート工業株式会社

網安心【もうあんしん】

ー水難救助ネットー24

ナカダ産業株式会社

布製型枠工法 バイオコンクリートマット

ーため池・水路等でも施工可能バイオポリエステルを使用した布製型枠、CO₂削減にも貢献する次世代インフラ工法ー26

大嘉産業株式会社

「安全・安心」「ため池工法」

「防災」「減災」「工期短縮」「省人化」「生産性向上」に寄与します28

株式会社ネオコンクリート

ウィーブホールもメンテナンスの時代へ

ー従来型のウィーブホールは農業暗渠と同様の取扱いであったが、トータツプラスのウィーブホールは経年劣化、機能低下対策として本体（弁体）の取替が可能となっており、内部の確認・清掃等メンテナンスを行うことができるー30

株式会社トータツプラス

06 ● 事業紹介

国営かんがい排水事業「西濃用水第三期地区」の概要

ー老朽化した農業水利施設の改修と耐震化対策により農業用水を安定供給ー32

農林水産省東海農政局西濃用水第三期農業水利事業所 所長 藤澤 貴充

07 ● ARIC セミナー 設立 40 周年記念

「農業農村整備のための先進テクノロジーの活用」の開催38

（一社）農業農村整備情報総合センター

08 ● 広告（賛助会員）40

09 ● 編集後記52

10 ● 表紙コラム

国営かんがい排水事業「西濃用水第三期地区」

（岐阜県大垣市、養老町、垂井町、神戸町、揖斐川町、大野町、池田町）53



■表紙写真 国営かんがい排水事業
「西濃用水第三期地区」
（岐阜県大垣市、養老町、垂井町、神戸町、
揖斐川町、大野町、池田町）

今号の表紙写真は、東海農政局
西濃用水第三期農業水利事業所から
提供いただいた「岡島頭首工」
の全景写真です。

「西濃用水第三期地区」について
ご紹介した「事業紹介」「表紙
コラム」と併せてご覧ください。

本誌の中での農林水産省職員
の投稿文の内容や意見は、
執筆者個人に属し、農林水産
省の公式見解を示すものでは
ありません。